



金井神社の御鎮座八百年の節目を機に、「神社を身近に感じてもらうように」と、令和2年6月から月替わりの御朱印を授与している。御朱印は、季節に合わせてデザインを変更し、花や風物詩をテーマに描いた2種類がある。色鮮やかな御朱印を求めて毎月訪れる人もいるという。「家に持ち帰って振り返ったときに、その日がどんな日だったか、誰とお参りしたかなど、そんな参拝の記憶が蘇るよう、季節感を大事に、色彩などに気を配っています」。デザインは小野さん手作りの消しゴムはんこがベースになっていて、描き入れる柄も毎年、毎月変えている。細かな作業は得意なほうで、幼い頃は漫画を描くことが好きだった。画材屋にも通ったことから、そのときの知識が役立つこともあるという。彫る作業は楽しいというが、構図を考えるのが毎月のプレッシャーだ。一年前と同じ題材を扱うにしろ、図案は変えているほか、短時間に仕上げることも考慮し、版数などに注意している。

社頭に一枚ずつ、すべて手押し、手書きする。「一つに10分から15分、事前予約は行っていない

ので、混み合ってしまうとお時間をいただく場合がございます」。そんなときは御朱印帳を預けて、近隣に食事に出かけたり、いなべの町を観光する人もいます。お守りもアイデアあふれるものが並んでいる。社紋の彩りが目を引く「かない」に懸けた「叶守」や、ハート型のお守りもある。古来より神社の建築装飾にハートの形が取り入れられているが、これはイノシシの目を模したものの。災厄を退けて福を呼ぶという厄除けの効果があるとして、この文様を取り入れた「猪目」は、女性であればバッグチャームにして、常に持ち歩くこともできる。また、大きな「大福叶守」は、神棚のない家も増えている中、まずはお守りを

地域に親しまれた神社の歴史と文化を受け継ぐ金井神社には近隣の人々が口課としてお参りに訪れているが、県境に近いことから、愛知はもとより、滋賀や岐阜など県外からの参拝者も多い。金井神社は、13世紀初め、天災や飢饉で地元多くの死者が出たことから、鎌倉時代の承久3（1221）年、伊勢神宮より勧請し、豊作や安全を願い創祀された。「ちょ



金井神社
（住所）いなべ市員弁町北金井911
（電話）0594-88-5588
（御朱印受付時間）午前9時～午後3時
※月9日まで休館日なし
火曜日は書置きでのお授け。水曜日は社務所休館。祭礼日は祭典準備のため書置きをみの対応となる場合がある

風に乗せて神様に願い事が届きますように
また悪いものを流していただけますように



種類豊富なお守り 風車で記念撮影 大晦日には「輪-RIN-己書道場」の奉納行燈が灯り、竹灯りのライトアップもある。元旦0時より、特別御朱印（左上）の授与がはじまる（書置き・なくなり次第終了）
奉納行燈 輪-RIN-己書道場 (@rin_onoreshodoujou)企画 三重北部師範会 協賛

うど大河ドラマ『鎌倉殿の13人』の時代と重なりますが、この辺りは鎌倉と京の間にあって、荒れた土地。生活に困った村人は墓にもするが、この場所に勧請したんだと思います」と小野さん。明治時代になって金井、春日、金蔵の三社を合祀、今日にいたるまで金井の郷の氏神として、崇敬を集めている。



金井神社 権禰宜 小野杏奈さん

季節の花を手水に浮かべた、金井神社の花手水。感染防止のため、手を洗うことはできないが、美しいものを見て晴れ晴れとした気持ちになつてもらおうと用意されている。「お花を眺めただけのことにより心をお清めいただけますよう、花手水を行っております。お参りいただいた方のひとときの癒しとなりますよう、定期的に花を入れ替え、毎日お手入れをしています」と金井神社の権禰宜・小野杏奈さん。花が少ない時は代わり飾りを入れたり、その日に奉納された季節の花を添えたりと、彩りに日々工夫をこらす。

戌の日に姿を見せるのが、張り子人形の大きな犬で、狛犬のように2体が並ぶ。犬はお産が軽くす

美しい花手水に安らぐ心を清めてお参りを

でもらつていた経緯がある。花が浮かんだ様子はとても彩り豊かでフォトジェニックなスポットとしてSNSでも話題となっている。



境内の装いや御朱印が話題となるが、基本的には神様をお祀りしているのが神社。神様にご挨拶をすませてから思い出に残る時間を過ごしたい ①張りの子 ②狛犬と月毎の御朱印 ③美しい花手水に遊ぶ園児たち



巻頭特集

手水を埋め尽くす美しい花々で心清らかに

金井神社へ初詣

感染症予防のため、柄杓の共有はもちろん、手水舎そのものを使用しない寺社が増える一方、水場を有効活用しようと花手水が広まっている。華やかでSNS映えることから訪れる参拝客も増え、「お花に心が癒やされる」と話題だ。